

2. 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
先端医学, 3 (3), 210-214	消化管の線維化はどのような疾患でありどのような意味をもつのか。消化器疾患における線維化の関与を探る：分子消化器病	遠藤 平仁	膠原病感染内科
Biomed Pharmacother, 61 (1), 81-85	Glucocorticoids co-interact with lipoxin A(4) via lipoxin A(4) receptor (ALX) up-regulation.	遠藤 平仁	膠原病感染内科
Biomed Pharmacother, 61 (4), 222-8	SKL-2841, a dual antagonist of MCP-1 and MIP-1 beta, prevents bleomycin-induced skin sclerosis in mice.	遠藤 平仁	膠原病感染内科
Mod Rheumatol, 17(3), 185-190	Laser-mediated microdissection for analysis of gene expression in synovial tissue.	田中 住明	膠原病感染内科
Therapeutic Research, 27 (10), 1942	全身性硬化症合併肺高血圧症の治療についての検討	田中 住明	膠原病感染内科
			膠原病感染内科 計 28件

- (注) 1. 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること（当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る）
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

2. 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Gastroenterol	Early genetic instability of both epithelial and stromal cells in esophageal squamous cell carcinomas, contrasted with Barrett's adenocarcinomas	Hiroaki Shiraishi	外科
Anticancer Res	Immunohistochemical Distribution of Heat Shock Protein 47 (HSP47) in Scirrhus Carcinoma of the Stomach	Kazuya Hirai	外科
Cancer Res	PGP9.5 methylation in diffuse type gastric cancer	Keishi Yamashita	外科
Langenbecks Arch Surg	Randomized of the efficacy of adjuvant chemotherapy for colon cancer with combination therapy incorporating the oral pyrimidine 1-hexylcarbamoyl-5-fluorouracil	Masahiko Watanabe	外科
Am. J. Surg	Laparoscopic Heller myotomy with Toupet fundoplication for achalasia straightens the esophagus and relieves dysphagia	Natsuya Katada	外科
Surg Endosc	Laparoscopy-assisted distal gastrectomy for early gastric cancer	Shinichi Sakuramoto	外科

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること（当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る）
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

2. 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Anticancer Research	Pre-operative Tumor Assessment of Patients with Gastric Cancer Based on Virtual Endoscopy Using Multidetector-row Computer Tomography	Shiro Kikuchi	外科
Hepato-Gastroenterology	New Technique for Purse String Suture in Stapled Esophagojejunostomy Using a New "Needle Cap" Device	Shiro Kikuchi	外科
Pathology International	Correlation of enhanced cell turnover stomach: Relevance of Cellularity and p27kip1	Yuta Nemoto	外科
日本外科系連合学会雑誌	原発性副甲状腺機能亢進症の術式選択における術中迅速病理診断の有用性	榎本拓茂	外科
Hepato-Gastroenterology	Comparison of Long-term Outcome of Laparoscopic and Conventional Surgery for Advanced Colon and Rectosigmoid Cancer	Takatoshi Nakamura	外科
日本大腸肛門病学会雑誌	潰瘍性大腸炎に対する大腸全摘術後に小網異常裂孔ヘルニアを呈した1例	小澤平太	外科

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること（当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る）

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

2. 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J. Surg Res	Interaction Between Stromal Fibroblasts and Colorectal Cancer Cells in the Expression of Vascular Endothelial Growth Factor	Yoshitomo Koshida	外科
Surgical Endoscopy	New technique of laparoscopic colectomy with the LAP DISC and a 5-mm flexible scope	Takatoshi Nakamura	外科
日本内視鏡外科学会雑誌	大腸側方発育型腫瘍に対する低侵襲手術の適応と有用性	小澤平太	外科
北里医学	早期胃癌に対する腹腔鏡下手術の治療成績	桜本信一	外科
			外科 計16件

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること（当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る）
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

2. 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
日本冠疾患学会 雑誌	CABG後遠隔期グラフト評価におけるMDCT の有用性	鳥井晋三	心臓血管外科
Innovations	Complete repair for a total defect type aortopulmonary window in an extremely low birth weight neonate	宮地 鑑	心臓血管外科
胸部外科	【胸部外科領域における低侵襲手術】 手術支援用ロボットを使用した胸腔鏡下 動脈管閉鎖術	宮地 鑑	心臓血管外科
JOURNAL OF THORACIC AND CARDIOVASCULAR SURGERY	Does a bidirectional Glenn shunt improve the oxygenation of right ventricle-dependent coronary circulation in pulmonary atresia with intact ventricular septum?	宮地 鑑	心臓血管外科
			心臓血管外科 計 4件

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること（当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る）
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

2. 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
American Journal of Ophthalmology	Changes of Corneal Aberrations in Sitting and Supine Positions	川守田拓志	北里大学眼科
総合臨牀	眼の症状-白内障、緑内障、アレルギー性結膜疾患	清水公也	北里大学眼科
IOL&RS	多焦点眼内レンズ挿入眼の視機能評価	疋田朋子	北里大学眼科
糖尿病医療スタッフのプラクティス	糖尿病に合併した白内障手術に際しての患者説明	清水公也	北里大学眼科
眼科プラクティス	モノビジョンによる白内障術後の老視矯正	清水公也	北里大学眼科
眼科プラクティス	優位眼について	清水公也	北里大学眼科
Journal of Cataract and refractive Surgery	Quantitative measurement of ocular cominance using binocular rivalry induced by retinometers	半田知也	北里大学眼科
IOL&RS	Laser In Situ Keratomileusis術後に発症した眼圧依存性角膜層間混濁の1例	飯田嘉彦	北里大学眼科
Japanese Journal of Ophthalmology	Pegylated Interferon-Associated Retinopathy in Chronic Hepatitis C patinents	緒方博子	北里大学眼科
臨床眼科	ラタノプロスト点眼からウノプロストン点眼への切り替えにおける有効性	後関利明	北里大学眼科
日本の眼科	眼内レンズによるモノビジョン法	清水公也	北里大学眼科
臨床眼科	間質性腎炎患者に発症した進行性網膜外層壊死の1例	井上裕美	北里大学眼科

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること（当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る）
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
神経眼科	Behcet病による視神経炎が疑われた1症例	五十嵐章史	北里大学眼科
眼科プラクティス	屈折検査	魚里博	北里大学眼科
視覚の科学	強度近視眼における有水晶体眼内レンズ挿入術前後のコントラスト感度	田村千春	北里大学眼科
あたらしい眼科	両眼開放下における調節機能への眼優位性の影響	藤村英佐子	北里大学眼科
日本コンタクトレンズ学会誌	コンタクトレンズ(CL)処方に必要な眼光学:理論編	魚里博	北里大学眼科
臨床眼科医報	強膜内陥術後のIOLマスターTMを用いた眼球形状変化の評価	筒井健太	北里大学眼科
臨床眼科	有水晶体眼内レンズ挿入術の評価-僚眼にwavefront-guided laser in situ keratomileusisを施行した高度近視眼における比較検討	田村千春	北里大学眼科
眼科プラクティス	眼内出血に伴う緑内障	庄司信行	北里大学眼科
眼科プラクティス	Schwartz症候群	庄司信行	北里大学眼科
視覚の科学	眼優位性検査法とその臨床応用	半田知也	北里大学眼科
あたらしい眼科	放射状角膜切開術後に発症し治療に苦慮した開放隅角緑内障の1例	鈴木宏昌	北里大学眼科
眼科	II機器を用いない視路疾患の検査法 1瞳孔検査:RAPD	石川均	北里大学眼科
眼科手術	囊内に圧縮固定された眼内レンズの光学特性変化	魚里博	北里大学眼科

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
The Kitasato Medical Journal	Relationships of exophoria, ocular dominance, and stereopsis after monovision induced by intraocular lens implantation	疋田朋子	北里大学眼科
日本視能訓練士協会誌 別冊	非屈折性調節性内斜視に二重焦点眼鏡のアイデアル型を使用した1例	高橋弥生	北里大学眼科
あたらしい眼科	ラタノプロスト単剤使用例への布林ブラミド追加による1年間の眼圧下降効果	緒方博子	北里大学眼科
EXPEPRIMENTAL EYE RESEARCH	Pharmacological vascular reactivity in isolated diabetic rabbit ciliary artery	後関利明	北里大学眼科
The Kitasato Medical Journal	Application of the Hagh-gain Avalanche Rushing Amaorphous	市邊義章	北里大学眼科
臨床眼科	視野闘争による眼優位性と眼位の評価	伊藤 美沙絵	北里大学眼科
あたらしい眼科	モノビジョン法における視能訓練士の役割	新田任里江	北里大学眼科
あたらしい眼科	Heidelberg社製IOPACTMPachymeterの使用経験	難波貴代	北里大学眼科
あたらしい眼科	調節機能における眼優位性の影響	藤村英佐子	北里大学眼科
IOL&RS	新しいLASIK	五十嵐章史	北里大学眼科
IOL&RS	Wavefront Guided Laser In Situ Keratomileusis 術後3年の経過	五十嵐章史	北里大学眼科
IOL&RS	前眼部Optical Coherence Tomography(OCT)	中西基	北里大学眼科
あたらしい眼科	IOPAC™Pachymeter の使用経験	川井友美	北里大学眼科

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること（当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る）
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
眼科手術	乱視度数入りPhakic IOL挿入術の臨床成績	相澤大輔	北里大学眼科
IOL&RS	屈折矯正手術後の白内障手術	市川一夫	北里大学眼科
湘西の眼科	眼優位性(利き眼)の検査法とその臨床応用	半田知也	北里大学眼科
IOL&RS	斜視に対する眼内レンズ偏心術	西元久晴	北里大学眼科
日本医事新報	白内障手術後の視力低下	清水公也	北里大学眼科
Graefe's Arch Clin Exp Ophthalmol	Changes in the crystalline lens resulting from insertion of a phakic IOL(IOL) into the porcine eye	藤澤邦俊	北里大学眼科
両眼視	両眼視と調節(測定機器)	浅川賢	北里大学眼科
日本コンタクトレンズ学会誌	波面収差測定のコントラクトレンズ処方への応用	相澤大輔	北里大学眼科
あたらしい眼科	免疫抑制薬と抗凝固療法が有効であった血管閉塞型全身性エリテマトーデス網膜症の1例	成瀬涼子	北里大学眼科
			北里大学眼科 計 47件

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

2. 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
JOHNS	爆発音による急性音響外傷	佐野 肇	耳鼻咽喉科
Audiology Japan	神奈川県と岩手県における急性低音障害型感音難聴の疫学調査（厚生労働省急性高度難聴に関する調査研究）	岡本牧人	耳鼻咽喉科
Laryngoscope	Water May Cure Patients With Meniere Disease	長沼英明	耳鼻咽喉科
耳鼻咽喉科免疫アレルギー	アレルギー性鼻炎の手術治療—トリクロール酢酸下甲介化学剤手術の臨床的研究—	八尾和雄	耳鼻咽喉科
頭頸部癌	経口腔法による側壁型中咽頭癌の手術治療—Transoral Lateral Oropharyngectomy について—	竹田昌彦	耳鼻咽喉科
Journal of Laryngology & Otolaryngology	Electromyography of the cricoarytenoid unit during supracricoid laryngectomy with a cricohyoidoepigottopexy procedure	中山明仁	耳鼻咽喉科
専門医通信	音声・嚥下機能保存のための喉頭亜全摘術	中山明仁	耳鼻咽喉科
Aurs Nasus Larynx	Effect of geranygeranylacetone on gentamycin ototoxicity in rat cochlea culture	佐野 肇	耳鼻咽喉科
音声言語医学	片側性声帯麻痺に対する直達喉頭鏡下声帯内方移動術の検討—音響分析と嚥下機能の改善を中心に—	西山耕一郎	耳鼻咽喉科
			耳鼻咽喉科 計 9 件

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること（当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る）

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

2. 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
International Journal of Urology	Computer simulated additional deep apical biopsy enhances cancer detection in palpably benign prostate gland.	松本和将	泌尿器科
カレントセラピー	特集 前立腺肥大症—日常診療の視点から 前立腺肥大症の治療、温熱療法—TUMT—	松本和将	泌尿器科
Int. J. Radiation Oncology・Biology・Physics	SUSTAINED LONG-TERM IMMUNE RESPONSES AFTER IN SITU GENE THERAPY COMBINED WITH RADIOTHERAPY AND HORMONAL THERAPY IN PROSTATE CANCER PATIENTS	藤田哲夫	泌尿器科
Gene Therapy	Cooperative effects of adenoviral vector-mediated interleukin 12 gene therapy with radiotherapy in a preclinical model of metastatic prostate cancer.	藤田哲夫	泌尿器科
			泌尿器科 計 4件

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること（当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る）
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

2. 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J. Steroid Biochem Mol Biol. 2007 Jun 26	Stimulatory effect of estrogen on the growth of endometrial cancer cells is regulated by cell-cycle regulators.	Watanabe	病院病理部
J. Gastroenterol. 2006 Dec;41(12):1186- 96. Epub 2007 Feb 6.	Early genetic instability of both epithelial and stromal cells in esophageal squamous cell carcinomas, contrasted with Barrett's adenocarcinomas.	Shiraishi H	病院病理部
Am J Clin Pathol. 2007 Mar;127(3):366-73.	Low frequency of promoter methylation of O6-methylguanine DNA methyltransferase and hMLH1 in ulcerative colitis-associated tumors: comparison with sporadic colonic tumors.	Mikami T	病院病理部
Cancer Sci. 2006 Dec;97(12):1335- 42. Epub 2006 Oct 9.	Genetic instability on chromosome 17 in the epithelium of non-polypoid colorectal carcinomas compared to polypoid lesions.	Ogawa T	病院病理部
Am J Surg Pathol. 2006 Aug;30(8):945-53.	Gastric large cell neuroendocrine carcinomas: a distinct clinicopathologic entity	Jiang SX,	病院病理部
Int J Cancer. 2006 Nov 15;119(10):2294- 303.	Induction of p16INK4A mediated by beta-catenin in a TCF4-independent manner: implications for alterations in p16INK4A and pRb expression during trans-differentiation of endometrial carcinoma cells.	Saegusa M	病院病理部
Cancer Sci. 2006 May;97(5):362-7.	Significant increase of colonic mutated crypts correlates with age in sporadic cancer and diverticulosis cases, with higher frequency in the left- than right-side colorectum.	Okayasu I	病院病理部

			病院病理部 計 7件
			全 合 計 1 4 6 件

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること（当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る）
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	事務部長 高橋 修		
閲覧担当者氏名	管理課長 熊澤 豊彦	医事課長 加藤 昭	診療情報管理課係長 佐藤 昭弘
閲覧の求めに応じる場所	管理課	医事課	診療情報管理課

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延	0 件
閲覧者別	医 師	延	0 件
	歯科医師	延	0 件
	国	延	0 件
	地方公共団体	延	0 件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	70.2%	算定期間	平成18年04月01日～平成19年03月31日
算 出 根 拠	A:紹介患者の数		24,608人
	B:他の病院又は診療所に紹介した患者の数		14,851人
	C:救急用自動車によって搬入された患者の数		3,129人
	D:初診の患者の数		45,857人

(注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 A、B、C、Dは、それぞれの延べ数を記入すること。